

大規模情報系システムのクラウド化を契機に データ利活用に向けたデータ基盤を受注

NTTデータは、JAバンクの基幹システムである JASTEM の情報系システムをオンプレミスからパブリッククラウドに移行する案件を構築した。現在、その実績を基に貸出支援、接続サービス公的照会、相続支援といったさまざまなサービスを提供している。本稿ではその経緯について紹介する。

変える勇気。「クライアントファースト」を深化

かねてよりお客様には、既存システムの DX 化と稼働コスト削減を図るべくクラウド技術を導入したいというニーズがあった。「NTTデータは情報をキャッチしていたものの『DX化に関する提案が少ない』『レガシーはNTTデータ、その他は他社』といった評価の声もきこえていました。現行情報系システムについては、当社が提供しているが、お客様のニーズを深掘りした提案をしなければ失注リスクがあると考えていました。」(西内氏)。基幹系システムである情報系システムのクラウド化は、近視眼的には品質をはじめとした事業リスクにつながりかねない。しかし、この案件を獲得できれば DX 領域における NTT データのプレゼンス向上に繋がられる。また、今後

データドリブン系のビジネスを創出できるだろう。そこで、NTTデータは、“変える勇気”を持って、単に従来の JASTEM の延長ではなくお客様ニーズ、メリットを捉えてクラウド化を提案するという考えにシフトした。



株式会社NTTデータ
第二金融事業本部

J Aバンク事業部 JAバンク第一開発担当

(左) 課長 北之防 敏秀氏 (右) 部長 西内 優鎮氏

クラウド化に向けて PoC を実施し、実機検証を踏まえ提案

『クラウド化と言っても具体的に何から始めて良いかわからない』そうした声にお応えし、PoCを実施し、クラウド化に際しての課題に対する解決の方向性について、実機検証を踏まえたご提案をしました」と北之防氏が語るように、NTTデータはAWS上での旧JASTEM情報系システムの構築、基本動作確認等を短期

ていなかった PostgreSQL への DB マイグレーションも合わせて提案し、NTTデータの訴求力を高めていった。特にDBマイグレーションについては、お客様の不安も大きかったが、その払拭のために様々な社内外組織と連携し Oracle から PostgreSQL の非互換項目の精査、SQLコンバージョンツールの有効性の検証等により、実現性を担保。NTTデータの高い技術力・実行力のアピールに成功した。

間のうちに実施し、NTTデータのクラウド技術力をアピールした。また、クラウドリフトに加えて、当初お客様が想定され

ていなかった PostgreSQL への DB マイグレーションも合わせて提案し、NTTデータの訴求力を高めていった。特にDBマイグレーションについては、お客様の不安も大きかったが、その払拭のために様々な社内外組織と連携し Oracle から PostgreSQL の非互換項目の精査、SQLコンバージョンツールの有効性の検証等により、実現性を担保。NTTデータの高い技術力・実行力のアピールに成功した。

NTTデータは、前例のない大規模金融系基幹システムクラウド化の実現を契機に貸出システム要件の定義、データ基盤といった新規大型案件を受注。今後も新しいサービス提供に向けて取り組みを進めていく。

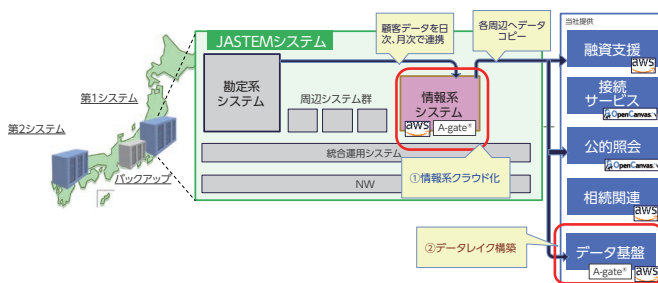


図1 JASTEMの概要とNTTデータの提供するサービス